

「アルストロメリア」冬期も出荷



常盤基幹支店管内で、生産量の多い花き「アルストロメリア」の出荷が順調です。常盤青果センターには、生産者が収穫・箱詰めしたアルストロメリアが搬入されています。

収穫は気候が温暖な4月から5月に最盛期を迎えますが、施設栽培で通年生産をしているため、冬も作業を行っています。

同青果センターの佐々木篤統括は「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う制限が緩和されたが、ブライダルや葬祭など業務受託の回復は緩慢だ。家庭消費も含めた企業などへの消費拡大とPRに努めたい」話しました。



アルストロメリアを出荷する生産者



出荷されるアルストロメリア



黒石市役所の贈呈式（3月2日）



平川市役所の贈呈式（3月3日）

農作物で食農教育



北海道のJAきたみらい（大坪広則組合長）は3月2日と3日、黒石市と平川市を訪れ、馬鈴しょ（ECOみらい）と玉ねぎの贈呈式を行いました。

2月には、当JAとJAきたみらいが北海道の北見市、訓子府町、置戸町を訪問し、当JAはりんご、JAきたみらいは馬鈴しょと玉ねぎを贈呈しました。



北見市役所の贈呈式（2月3日）